

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

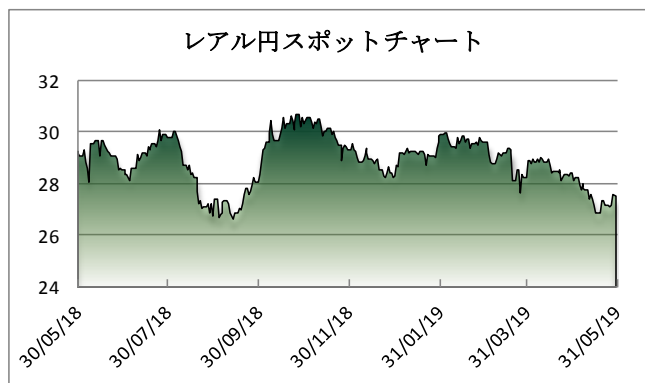
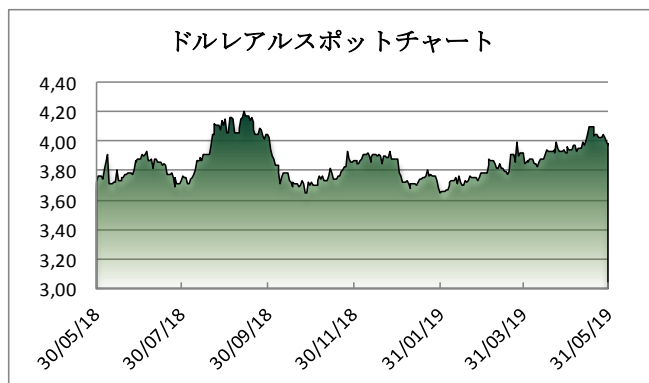
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、第1四半期GDPがリセッション脱却以来のマイナス成長を記録したものの、年金改革法案の進展を期待した楽観ムードが継続しており、レアルの買戻しが進行。一時 3.95台半ばを記録した他、ボベスパ指数も前日比0.9%高を記録している。第1四半期GDPは市場予想通り、マイナス成長となる▲0.2%を記録したが、特に投資と家計消費の減速が多く大きく影響している。これを受け、Guedes 経済相はブラジルで記者団に対し、「この結果は予想されたもので、ブラジル経済は停滞に直面している」と発言。但し、「改革が実現すれば経済は成長を取り戻す」、との従来の見解を繰り返した他、①財政問題を解決しなければ金利は低下しない、②政府と議会、司法の3者協定は、国民に、「重要な理解を与える」（なお、「司法がこのような協定を結ぶべきではない」、との指摘も議会で高まっており、予定通り6月10日の週に締結されるかどうかは不透明）、との見解も示している。年金改革法案については、中道政党を中心とした野党は昨日、より緩やかな移行期間や州や地方自治体を改革から除外、金融取引に新たな手数料を賦課する、などを含んだ代替案を提示。歳出削減規模は10年間で6000億レアルと見積もっており、既に513名の下院議員のうち、「184名が法案を支持している」と発言。一方、下院の第3勢力を形成しているPP（進歩党）は、新たな手数料は増税とみなされる可能性があるとして、この法案に反対すると表明。今回の提案を、「金融市場の混乱を意図的に招こうとする試みである」、と批判している。また、ブラジル国外では、トランプ大統領が昨夜、メキシコに対して、「関税率を当初の5%から25%にまで引き上げる可能性がある」、と発言している。

マーケットデータ

| Indicator | | Unit | 5月29日 | 5月30日 | 前日比 | 1ヶ月前比 | (年初来) 高値 | (年初来) 安値 |
|--------------------------|------|-------|---------|---------|--------|--------|-------------|-------------|
| レアル | 対ドル | BRL | 3,9732 | 3,9820 | 0,22% | 1,56% | 3,6374 | 4,1217 |
| | 対円 | JPY | 27,57 | 27,53 | -0,15% | -3,18% | 30,08 | 26,68 |
| | 対ユーロ | BRL | 4,4251 | 4,4315 | 0,14% | 0,84% | 4,1646 | 4,6037 |
| 円 | 対ドル | JPY | 109,59 | 109,62 | 0,03% | -1,62% | 104,87 | 112,40 |
| | 対ユーロ | JPY | 121,99 | 122,00 | 0,01% | -2,42% | 118,71 | 127,50 |
| Bovespa (ブラジル株価指数) | | Index | 96.567 | 97.457 | 0,92% | 1,15% | 100.439 | 87.536 |
| CDS Brazil 5yrs | | bps | 179,20 | 180,30 | 0,61% | 4,52% | 209,52 | 149,43 |
| Brazil 10yrs Gov. Bond | | % | 8,52 | 8,43 | -1,06% | -6,10% | 9,34 | 8,43 |
| DI Future Jan20 (金利先物) | | % | 6,33 | 6,34 | 0,08% | -2,54% | 6,69 | 6,30 |
| 3 Months US Dollar Libor | | % | 2,52175 | 2,52025 | -0,06% | -2,15% | 2,8039 | 2,5180 |
| CRB Index (国際商品指数) | | Index | 180,34 | 178,76 | -0,88% | -2,98% | 189,68 | 168,26 |

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。